

# I 令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

当財団は、県民が主体となった地域社会の形成を促進するため、NPOやボランティア、生涯学習をはじめとする県民の諸活動の支援、高齢者の生きがいづくりや地域参加の促進及び就業機会の提供に関する事業を行い、あらゆる世代が共に支え合う豊かな埼玉の発展に寄与するという社会的使命を有している。

県民活動の支援に関する事業では、NPOの運営やボランティア養成に関する講座を県内各所で実施するとともに、「彩の国市民活動サポートセンター」を運営し、県民への情報提供や市町サポートセンターのネットワーク化を図った。

また、多様な学習ニーズに応える事業を実施し、学習機会を提供するとともに、生涯学習の成果を地域に還元できるよう市民講師を養成した。

さらに、県民活動総合センターが様々な人々の活動の場として利用いただけるよう利便性の向上に努めた。また、地域や企業、団体等と連携したイベントの実施や、東京2020オリンピック競技大会の柔道オーストラリアナショナルチームの合宿の受け入れを行った。

高齢者のいきがいづくりや地域参加の促進を図る事業では、彩の国いきがい大学を運営し、新たな仲間づくりとともに地域で活躍できる人材の育成を目指すカリキュラムを実施した。加えて、高齢者の健康増進や介護予防に役立つセミナーを開催した。

就労意欲のある高齢者の就業や能力の活用促進に関する事業では、高齢者の就労支援の拠点である地域のシルバー人材センターの運営基盤の強化のため、事業や組織の運営に係る助言、法律等の相談や適正な経理事務に向けた会計監査などを行った。

また、労働者派遣事業ではシルバー人材センター会員の拡大のため、就労を希望する高齢者を対象に技能講習や就業体験を実施するとともに、多様な就労機会を提供するため、事務系職種や介護等の人手不足分野を中心に派遣先企業の開拓に取り組んだ。

## I - 1 事業の概要

### 1 県民活動の支援に関する事業

#### (1) 県民活動支援のための講座の開催

ア NPO活動やボランティア活動を支援するため、市町の市民活動サポートセンターや大学と連携し、ボランティアを養成する講座やNPOの運営について学ぶ講座を県内各所で実施した。また、学習支援ボランティアや子どもの居場所サポーターを養成する講座を実施した。

イ 生涯学習を通して習得した知識や技能を地域に還元できるよう市民講師を養成する講座を実施した。また、市町村生涯学習施設での活動の場を提供するとともに、スキルアップのためのセミナー等を実施した。

ウ 情報化に対応する講座、文化教養に関する講座、スポーツに関する講座など、多様な学習ニーズに対応した講座を実施するとともに、地域の課題解決について主体的に学ぶアクティブラーニング事業を実施した。

#### (2) 県民活動団体への支援

県民活動団体の活動が一層活発なものになるよう、コミュニケーションに取り組みNPOや子育て支援を行うボランティア団体等と協働で事業を実施した。

#### (3) 彩の国市民活動サポートセンターの運営

NPO活動やボランティア活動に関する情報提供・相談を行うとともに、「埼玉市民活動サポートセンターネットワーク」事務局として市町の市民活動サポートセンター職員を対象に研修会を実施し、関係団体とのネットワークの強化を図った。

#### (4) 埼玉県県民活動総合センターの運営

埼玉県県民活動総合センターの指定管理者として、施設を適切に維持管理し、利用に供した。また、レストランを新たに「INA KITCHEN by 銀座ライオン」にリニューアルし、利用者の利便性の向上を図った。

地域や企業、団体等と連携したイベントを実施するとともに、東京2020オリンピック競技大会の事前トレーニングキャンプに向けて柔道オーストラリアナショナルチームの合宿を受け入れた。

## 2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

### (1) 彩の国いきがい大学の運営

高齢者が地域で活躍できるよう、県内各地で一般課程（8 学園）、専攻課程（6 学科）、プラチナコース（2 コース）を運営し、9 4 5 人の高齢者に学習機会を提供した。

また、いきがい大学の周知を図るため、高齢者を対象とした特別講座を開催した。

### (2) 高齢者いきがい支援センター事業の実施

高齢者の健康づくりを支援するため、専門家による健康増進に関するセミナーを開催したほか、介護予防のためのシニア向けレクリエーション実践者セミナーを開催した。

### (3) 情報誌発行

アクティブシニアのための情報誌「NEXT！」を4回発行し、高齢者の生きがい、健康づくり及び社会参加に役立つ情報を提供した。

### (4) いきいき創作展の開催

絵画や写真など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場として、4 5 4 点の作品を展示した。

なお、優秀作品は、翌年度の全国健康福祉祭（ねんりんピック）美術部門に出品される。

### (5) 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣

高齢者の国体と呼ばれる第32回全国健康福祉祭和歌山大会（ねんりんピック紀の国わかやま2019）に埼玉県選手団132人を派遣した。

水泳（女子50m背泳ぎ・バタフライ優勝）、グラウンド・ゴルフ（女子の部第3位）、サッカー（ブロック優勝）など優秀な成績を修めた。

## 3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進

### (1) シルバー人材センター・高齢者事業団の支援

埼玉県から指定を受けている「埼玉県シルバー人材センター連合」として、県内のシルバー人材センター・高齢者事業団の安全で適正な業務運営に係る支援を行った。

令和元年度は、各センターの組織や事業の運営に係る助言、法律等の相談や適正な経理事務の徹底に向けた会計監査などを行った。

## (2) 労働者派遣事業の実施

高齢者に多様な就業機会を提供する労働者派遣事業では、適切な事業運営のため派遣実施事務所との運営会議や実務者研修を9回開催し、情報の共有化と担当職員の資質向上を図った。

また、厚生労働省からの委託を受け、60歳以上でシルバー人材センター会員に登録を希望する就業意欲のある人を対象に、技能講習を12回、現場での就業体験を54回実施し、会員の拡大、技能の向上を進めた。

## (3) 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発

シルバー人材センターのイメージを向上し、会員の就業を促進するため、高齢者向けの生き方セミナーを5回、企業向けの人材活用セミナーを11回実施した。

また、「埼玉都民」を対象に、新宿NSビルにおいて「現役世代からのシニアライフ創造セミナー」を実施した。

## (4) シルバー・ワークステーション事業の実施

高齢者に多様な就労機会を提供するため、事務系職種や介護、保育、スーパーマーケット等の人手不足分野を中心に企業への営業活動を行った。

また、「65歳からの生き方セミナー」を県内各地で3回開催し、シルバー人材センター会員となる人材発掘を行うとともに、多様な働き方を紹介するため、就業事例集を50,000部発行し、シニア活躍推進企業等へ配布した。